

北海道大学工学部フロンティア資源・エネルギー研究棟

の設備整備のためのご寄附のお願い

趣意書

北海道大学工学部資源実験棟は、昭和45年(1970年)に改築落成し現在に至るまで、鉱山工学科、資源開発工学科そして資源系コース・専攻・部門の中心施設として教育及び研究に利用されてまいりました。これまでに約1,500名の学生が、学士・修士・博士の各課程においてこの実験棟を活用し、日本の資源工学と産業を支える人材として巣立つとともに、数多くの優れた研究が生み出されました。

現在の資源実験棟は、建築から約半世紀が経過し、漏電・漏水・振動・騒音などの問題が常態化し、先端研究施設には程遠い狭隘・劣悪な環境と言わざるを得ないことから、かねてより改築を文部科学省へ継続的に要求してきました。この度、令和4年度予算において、フロンティア資源・エネルギー研究棟の現在のG棟跡地への新築が認められ、6階建て構造の建築に取り掛かっております。同研究棟は、最先端の実験・研究及び教育施設として、また国際的に共同した教育・研究の実施にも適した施設として、令和5年度9月末竣工の予定です。

フロンティア資源・エネルギー研究棟においては、各研究室が利用する研究スペースに加えて、次世代環境ラボ・共用試料ストレージ・バイオ資源工学ラボなど、最先端の教育・研究に資するための多くの共同利用ゾーン、また、資源教育の国内外ネットワークをフルに活用するためのIT化された会議室などを配置しています。教育・研究で利用する実験設備や備品のほとんどは、現在使用中の設備・什器を使用する予定ですが、新たに整備する共用ゾーンのための最先端設備や堅牢な会議システム等については、資源系部門で独自に購入・整備する必要があります。各研究室においても、可能な限りの経費節減によって、共通の整備費用を捻出することとしておりますが、昨今の大学運営基盤経費の継続的な削減によって、十分な財源確保の目処が立たない状況にございます。

つきましては、フロンティア資源・エネルギー研究棟を、日本の将来を担う学生たちの活動の場として相応しいものとするために、同窓生ならびに本事業の趣旨に賛同いただける皆様からのご芳志を募らせていただくこととなりました。何卒、ご支援とご協力を賜りたく、心からお願い申し上げます。

令和四年四月吉日

北大工学部同窓会顧問（鉱山45期）

米田 哲朗

環境循環システム部門長・資源循環システムコース長

川崎 了

【寄附概要】

- | | |
|----------|---|
| 1. 寄附名称 | 北大工学部フロンティア資源・エネルギー研究棟設備整備基金 |
| 2. 寄附目的 | 北大工学部フロンティア資源・エネルギー研究棟の新築にあたり、教育研究等で使用する設備備品費用の一部に要する資金調達 |
| 3. 寄附目標額 | 1,000 万円 |
| 4. 寄附期間 | 令和 2 年 4 月から令和 6 年 3 月まで |
| 5. 寄付金額 | 法人・団体 一口 10 万円 |
| 6. 申込方法 | 北海道大学の「北大フロンティア基金」のページより、ご寄附を頂戴いたします。「特定プロジェクトを応援する」→「 フロンティア資源・エネルギー研究棟施設整備基金 」とお進みください。 |



【寄附者への謝意】

ご寄付をいただいた各社様の企業ロゴを A0 版程度のパネルにとりまとめ、資源・エネルギー研究棟に掲示させていただく予定です。

中途経過や工事進捗についてこのようなメール、[資源循環システムコースのホームページ](#)等で随時報告させていただきます。